

アンサンブル・ノマド 第81回定期演奏会



2024

6/28 fri.

東京オペラシティリサイタルホール

18:15開場 18:45開演

チケット

【前売】

一般 ¥4,000

大学生 ¥2,000

高校生以下 ¥1,000

【当日】

一般 ¥4,500

大学生 ¥2,500

高校生以下 ¥1,500

(就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

チケット取り扱い

東京オペラシティ チケットセンター

Tel:03-5353-9999

アンサンブル・ノマド ウェブサイト

<http://www.ensemble-nomad.com/>

お問い合わせ

キーノート

Tel:0422-44-1165

Mail

keynote_music@fol.hi-ho.ne.jp

プログラム

■ 坂田直樹：糸遊 ~エレキギターと

アンサンブルのための(2024) -世界初演

Naoki Sakata: «Itoyū» for electric guitar and ensemble

■ 福士則夫：カドリール(2019)

Norio Fukushi: Quadrille

■ ガブリエレ・マンカ：エントランス・ミュージック(2001) -日本初演

Gabriele Manca: Entrance Music

■ ガブリエル・エルコレカ：トランス(2008) -日本初演

Gabriel Erkoreka: Trance

■ ジョルジ・リゲティ：ピアノ協奏曲(1985-1988)

György Ligeti: Piano Concerto

■ 余铸恩：海底から昇りて、天に触れん(2023/2024)

-改訂版世界初演

Yu Zhuen: Rising from the Sea's Depths to touch the Celestial

出演者

Ensemble NOMAD

佐藤紀雄(cond) 木ノ脇道元(fl) 菊地秀夫(cl) 花田和加子(vn) 甲斐史子(va) 佐藤洋嗣(cb)
宮本典子(perc) 稲垣 聡(pf)

Guests

田中翔一朗(pf) 山田 岳(e-gt/bj)

内山ちまり(b-cl) 林 憲秀(ob) 岸上 穰(hr) 福士マリ子(fg) 笹崎雅通(c-fg) 佐藤秀徳(tp)
今込 治(tb) 河村絢音(vn) 松本卓以(vc) 安江佐和子(perc) 高野麗音(hp) 土橋庸人(gt)
electronics:佐原 洸

世界の眺望

ダイバーシティ・多様性

Vol. 1

主催/一般社団法人 アンサンブル・ノマド

助成/公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 芸術文化振興基金 NOMURA 野村財団 公益財団法人 朝日新聞文化財団

アンサンブル・ノマド 第81回定期演奏会



ダイバーシティ・多様性 Vol.1 世界の眺望

ここ数回の定期演奏会のプログラムではバロックから現代までの様々な分野の音楽を広範に扱ってきたが、今回は同時代を中心に、現代音楽の多様性を鳥瞰するプログラムをつくった。現代音楽を聴くうえで知的な理解はかかせないだろう。ただ、いたずらに深堀りに走ることで直感を曇らせるのは音楽が本来持っている普遍的な耳や触覚的な喜びを遠ざけることにならないだろうか。今回取り上げるスペイン、イタリア、日本、ハンガリー、中国の作曲家による作品は知的なアプローチに根ざしているものの、無邪気に音と戯れる喜びや発見に驚く感情が躍動している。 佐藤 紀雄

Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。2002年度に行った第15回定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を、2014年度に行った第52回定期演奏会「再生+vol.3: 祈り~エストニアから震災復興を祈るコンサート」により「第3回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンポ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また2008年10月にはソウルでの「パン・ムジーク・フェスティバル」などに出演。2009年秋には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行ない、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年7月にはエストニアとオランダで公演を開催。2014年にはメキシコの「セルバンティーノ音楽祭」に日本を代表するアンサンブルの1つとして招聘された。2015年12月に再び中国四川公演を行い、2020年には「ライブツィヒ現代音楽祭」にonlineで参加。2023年11月には3度目の四川公演を行った。今後もフランスやメキシコなどでの公演を予定している。また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行なっている。

CDは、これまで近藤 謙「梶子」、「空の眺め」、「オリエント・オリエンテーション」、「表面・奥行き・色彩」、石田秀実「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」、池辺晋一郎「炎の資格」、福士則夫「花降る森」が発売されている他、藤倉 大の「Turtle Totem」、「Diamond Dust」、「glorious Clouds」にもライブ録音が収録されている。海外では2011年秋にエベルト・バスケスの「Bestiario (動物寓話集)」、2015年秋に「Pruebas de vida (生命の証)」がリリースされている。2014年にはオリジナル・アルバム「めぐる-Meguru」を発売。2015年夏から秋にかけて発売された「現代中国の作曲家たち」シリーズは、レコード芸術誌の特選盤や朝日新聞の「for your collection」推薦盤に選ばれている。

公式ウェブサイト: www.ensemble-nomad.com/



#81出演者 / 佐藤紀雄 (cond) 木ノ協道元 (fl) 菊地秀夫 (cl) 花田和加子 (vn) 甲斐史子 (va) 佐藤洋嗣 (cb) 宮本典子 (perc) 稲垣 聡 (pf)

Guests

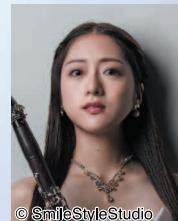


田中翔一朗 (ピアノ)



© SLOT PHOTOGRAPHIC

山田 岳 (エレクトリック・ギター/バンジョー)



© SmileStyleStudio
内山ちまり
(バス・クラリネット)



林 憲秀
(オーボエ)



© 平鏡 平
岸上 稔
(ホルン)



© Ayane Shindo
福士マリ子
(ファゴット)



笹崎雅通
(コントラ・ファゴット)



© Masakuni Terno
佐藤秀徳
(トランペット)



今込 治
(トロンボーン)



河村絢音
(ヴァイオリン)



松本卓以
(チェロ)



安江佐和子
(パーカッション)



高野麗音
(ハープ)



土橋庸人
(ギター)

エレクトロニクス: 佐原 洸



東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティB1F
Tel: 03-5353-0788 京王新線「初台駅」東口下車徒歩3分

Photos (表): © SLOT PHOTOGRAPHIC (山田 岳)
© Maki Takagi (Ensemble NOMAD)